

学校教育



竹下 英治 議員

Q 福岡県重点課題研究の成果は

A 町全体の共通実践に繋げるよう活用する

竹下 令和元年度から3か年に亘り実施した県の重点課題研究の成果は活用されているか。

教育長 「深く学ぶ児童生徒の育成」を主題に小中9年間で取り組む学力向上を重点課題として、広中・小中で研究を担当した。「振り返り」の授業スタイルを実践し、児童生徒とも、学習が分かる・大体分かると答える者の割合と毎日の家庭での学習時間が全体的に増加した。

竹下 成果の「指導案」、「スタディ10」、「振り返りシート」どれも有用だが、ただこれらは研究事業に依らずとも先生方の恒常的な業務に於いて出し得るものではなかったか。当該研究事業参画への学校教育現場からのニーズが不透明である。

教育長 研究事業は教員にとって大変大切なものである。当該

研究には県全体での小中一貫の取り組みモデル的なもの作りの目的もあり、広川町が取り組んだ意義は大きいと考える。

竹下 県の義務教育目標の中でも「豊かな心」の教育はどのような状況にあるか。仮に今後研究事業を行なう場合は、むしろこの「豊かな心」を取り上げて頂くよう提言したい。

Q 学校建て替えの

代替地の腹案は

A 国の認可後に早急に探す

竹下 令和2年6月の国道3号バイパス・ルートの決定に先立ち、町長は令和2年5月末、国に対し公共用地（現上広小）供出の申出を正式に行っている。このことから、建て替えの代替地の腹案は従前からあったものと常識的に考えて良いか。

町長 国の認可が下りたからといって直ぐに工事が始まるわけでもない。国から多分要望があるので、そういう時は速やかに建て替え地を探していく。

※他に学校教育年度到達目標、総合戦略、公園整備、3号バイパス推進協議会について質問

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、恒久平和を求める決議

ロシア軍は去る2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始し、主要都市の占拠に向け、軍事施設やヨーロッパ最大級の原発関連施設への攻撃など一方的な軍事行動を展開している。こうした、ロシア軍の攻撃により、ウクライナでは、民間人を含めた多くの国民が犠牲となり、多くの難民が生じている。

ロシア軍の侵攻は明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かすものであり断じて容認できない暴挙である。

さらに、ロシアは、我が国をはじめ国際社会が連携して実行している経済制裁に反発して戦略核兵器の使用を示唆した。こうした威嚇や挑発、攻撃はすべての人類と文明社会への敵対行為と言うほかはなく、断じて許すことはできない。

本町議会は、昭和59年6月に、「非核・恒久平和の町宣言」を決議し、平和への誓いを決意しているところである。

本町議会は、ロシア軍によるウクライナ侵攻を厳しく抗議し、ロシアに対して、無条件に軍を即時撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求めるものである。以上決議する。

令和4年3月10日

広川町議会